

令和8年度狭山市立広瀬小学校学校経営方針

1 学校経営に関する基本理念

すべては子供たちのために

本校では、すべての教育活動の原点を「子供たち一人一人の幸せと成長」に置き、子供たちが「学ぶことが楽しい」「学校が安心できる場所」と実感できる学校づくりを進める。

変化の激しい社会を生き抜くこれからの子供たちには、確かな学力だけでなく、自分を大切にし、他者と共によりよく生きる力が求められている。教職員一人一人が強い使命感と協働意識をもって教育にあたり、家庭・地域と連携しながら、子供たちの「今」と「未来」を支える学校経営を行う。

2 目指す学校像

子供・保護者・地域・教職員が誇りに思える学校

- ・子供たちが安心して学び、挑戦できる学校
- ・保護者が信頼し、共に子供を育てたいと思える学校
- ・地域から愛され、支えられる学校
- ・教職員がやりがいと成長を実感できる学校

学校教育目標

よく考え行う子 (知)

思いやりのある子 (徳)

たくましい子 (体)



3 目指す児童像

合言葉は笑顔

(1) よく考え行う子【確かな学力】

- ・話をよく聞き、考えを深める子
- ・自分の考えをもち、互いに伝え合える子
- ・自ら進んで学び続ける子

(2) 思いやりのある子【豊かな心】

- ・進んであいさつや返事ができる子
- ・相手の気持ちを考えて行動できる子
- ・自分・友達・家族・学校・地域を大切にする子

(3) たくましい子【健やかな体と心】

- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康に過ごす子
- ・力いっぱい運動し、粘り強く取り組む子
- ・挑戦を恐れず、最後までやり抜く心をもつ子



4 目指す教職員像

広瀬小を誇りに思い、子供の成長を支える教職員

(1) 信頼される教師

- ・社会人、教育公務員としての自覚と節度ある言動
- ・丁寧な接遇（あいさつ、言葉遣い、態度、服装、電話対応）

(2) 安全・安心を保障できる教師

- ・子供目線での安全点検と環境整備
- ・子供の声を聴き、いじめを見逃さない姿勢

(3) 分かる授業を実践する教師

- ・「授業で勝負する」意識をもった教材研究と授業改善
- ・子供の良さや努力を認め、伸ばす指導（美点凝視）

「埼玉県教職員 MOTO (モットー)」

未来を創る、こどもたち。
未来を育てる、わたしたち。
～未来への責任～

(4) 学校経営に主体的に参画する教師

- ・ 共通理解・共通行動を基盤としたチーム学校
- ・ 報告・連絡・相談を大切にし、組織力を高める

5 指導の重点

【重点課題】 ○学力向上○生徒指導・学級経営の充実

(1) 確かな学力を育む教育活動（学力向上）

■基礎・基本の定着を土台に、「考える力」「伝える力」「学び続ける力」を育成し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る。

- ①授業規律の徹底と学習環境の整備
- ②基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- ③児童が学びを実感できる授業の展開（茶レンジ・プラン提言6）

★1単位時間の授業の質の向上

- ・ねらいの明確化
- ・児童が自ら考える時間の確保
- ・児童が自分の言葉でまとめる活動の充実

- ④主体的・対話的で深い学びの実践（茶レンジ・プラン提言5）

・意見を交流させる場と時間の確保

- ⑤思考力・判断力・表現力を付けるために体験活動の推進

- ・生活科、総合的な学習の時間の充実
- ・地域素材の活用や地域人材との交流

- ⑥ICT 機器（電子黒板・タブレット）の効果的活用

- ⑦専科教員による英語科授業の充実・外国語活動の推進

- ⑧各種学力調査結果の分析と授業改善への活用

- ⑨家庭学習の定着（学年統一・家庭との連携）

(2) 豊かな心の育成（生徒指導・学級経営）

■「誰一人取り残さない学校」を合言葉に、全教職員で生徒指導にあたる。

- ①組織的な生徒指導・教育相談体制の確立

- ・情報共有と迅速な対応
- ・不登校・不登校傾向児童への継続的支援
- ・関係機関（SC・相談員等）との連携

- ②よりよい学級経営の推進

- ・児童理解を基盤とした信頼関係づくり
- ・Q-U アンケート等を活用した学級の実態把握
- ・認め、褒め、励ます指導の充実

- ③規範意識と望ましい人間関係の育成

- ・学級のルールを児童とともに考える
- ・いじめ・暴力を許さない毅然とした対応

- ④道徳教育・特別活動の充実

- ・考える道徳の実践
- ・係・委員会・縦割り活動を通じた自己有用感の育成

- ・異年齢集団活動の充実による豊かな人間関係づくり（縦割り活動、委員会活動、クラブ活動）

⑤特別支援教育の充実

- ・インクルーシブ教育の推進
- ・教育支援プランの活用と共通理解

(3) 安全・健康・体力の育成

①安全指導・防災教育の徹底

- ・交通安全指導の徹底 ・安全点検の確実な実施
- ・防災訓練や不審者対応訓練の実施

②体力向上と外遊びの推進

- ・体育授業の充実と運動量の確保・1日20分以上は外遊び

③基本的な生活習慣の確立

- ・早寝早起き朝ごはんの推進・望ましい食習慣の確立

④ICTの正しい使用と情報モラル教育

- ・タブレット使用時の約束の徹底
- ・ネットモラルについて学ぶ機会を多く取り入れる

(4) 家庭・地域との連携

①コミュニティースクールの推進

②保護者との丁寧な情報交換

③地域人材・学校応援団の活用

- ・地域への計画的、積極的な参加を図る

④学校だより、学年だより、ホームページ、スクリーン等で情報を発信する

6 働き方改革の推進

働き方改革の目的

①教職員の健康確保 ②教職員が笑顔で子供たちと向き合うため ③教職員の人材確保

(1) ICTを活用した業務の効率化

- ・校内サーバを活用した情報の共有化
- ・ペーパーレス化
- ・Teams（会議）やForms（アンケート集計）の活用

(2) 会議の精選と時間管理

- ・事前に資料の提示・話し合う内容の明確化
- ・話合いの時間の提示

(3) 在校時間を意識した働き方

- ・7時に開錠 19時までに施錠
- ・ノー残業デー、ふれあいデー（18時に施錠）
- ・電話受付時間 7:30～18:00（18:00～翌朝7:30まではメッセージ対応）
- ・長期休業中は、8時過ぎ開錠 17時施錠

(4) 広瀬小リフレッシュ休暇の実施

- ・年間1人1日、授業日に年休を取得する
- ・年度当初に学年内で重ならない日や行事日程を勘案して計画的に取得する

